

2020年5月18日

2020年3月期 通期連結業績の概要

<2020年3月期 通期業績:連結売上収益>

全世界販売台数は、前年同期比 3.3%増の 1,034 千台*¹ となりました。

海外販売は、米国市場においてフォレスターやアセントが好調に推移したことなどにより、同 5.0%増の 908 千台となりました。一方、国内販売は、インプレッサの減少などにより、同 7.7%減の 126 千台となりました。

連結売上収益*²は、販売台数の増加などにより、同 6.0%増の 3 兆 3,441 億円となりました。

当社は当期より、従来の日本基準に替えて国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しています。

そのため、比較対象となる 2019 年 3 月期 通期連結業績(日本基準)を、IFRS に従って再計算した上で、比較・分析をしています。

なお、全世界生産台数は同 4.2%増の 1,031 千台となりました。

国内生産は、フォレスターが増加したことなどにより、同 7.6%増の 664 千台となりました。海外(米国 SIA*³)生産については、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて 2020 年 3 月に工場操業を一時停止したことなどにより、同 1.3%減の 367 千台となりました。

<2020年3月期 通期業績:連結損益>

連結損益については、前年同期に比べ、販売台数の増加に加え、販売奨励金の抑制など改善に努めた結果、営業利益は前年同期比 15.7%増となる 2,103 億円になりました。税引前利益*⁴は同 11.6%増の 2,077 億円、親会社の所有者に帰属する当期利益*⁵は同 7.9%増の 1,526 億円になりました。

<2021年3月期 通期連結業績見通し>

新型コロナウイルス感染症の全世界的な感染拡大が、当社グループの生産・販売などに多大な影響を及ぼしており、現時点ではその影響の合理的な算定が困難であるため、2021年3月期の通期連結業績見通しは未定とします。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表します。

*1:IFRS 任意適用により、日本国内のみ売上計上基準が変更。

日本基準:自動車の登録日に売上計上 IFRS:お客様への納車日に売上計上。

*2:日本基準における「売上高」を「売上収益」と表示。

*3:Subaru of Indiana Automotive, Inc.

*4:日本基準における「税前利益」を「税引前利益」と表示。

*5:日本基準における「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」を「親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益」と表示。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。